

## 指定管理者による管理運営の実施状況報告

1 施設名：甘木歴史資料館

2 指定管理者名：朝倉市

3 指定期間：平成26年4月1日～平成31年3月31日

4 施設設置目的：甘木朝倉地方の考古・民俗・歴史資料の収集、保存及び展示

5 管理運営についての点検結果（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

（1）点検方法：事業報告書、現地確認、ヒアリング等をもとに指定管理者による管理運営の実施状況の点検を行った。

（2）点検結果：別添のとおり

### ①管理運営状況総括表

大項目	事業計画（取り組みや改善の内容等）	管理運営の概要
①公共性（公益性）の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域の特徴ある歴史民俗資料や各種文化財の調査研究、資料の収集や保存に努め、調査研究成果を積極的に展示及び公開する。</li> <li>・ 講座等の展開を通じ、文化財保護の普及に努め、施設の市民開放についても積極的に進める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市民から提供された資料を展示にいかすとともに、市民自主展示を積極的に受け入れた。</li> <li>・ 中学生の職場体験や、自主研究会等の活動の場、作品発表の場として施設を開放した。</li> <li>・ 企画展「筑紫の宝庫－朝倉高校名品展－」に関連して、朝倉高校史学部の生徒が研究発表「幻のクリンタン橋」を行った。</li> </ul>
②施設利用及びサービス向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 企画展に伴う形でギャラリートーク（展示解説）、公開講座を行うとともに、年次計画を基に講座を企画する。</li> <li>・ 解説シートの設置により、展示施設の改善を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 企画展「川と人とのものがたり～女男石護岸施設と治水と利水の歴史～」を開催した（期間中入館者数 1,290名）。</li> <li>・ 企画展「筑紫の宝庫－朝倉高校名品展－」を開催するとともに、関連して公開講座「朝倉の原始・古代を考える－朝倉高校所蔵品から－」や副館長によるギャラリートークを行った（期間中入館者数 2,023名）。</li> <li>・ 各地の史跡や伝統文化にふれ、歴史・民族学習から現代を見つめ、郷土愛を深めることを目的として歴史バスハイクを2回実施した。</li> <li>・ 歴史資料館学習講座「ひみこ」を15回開催した（定員45名）。</li> <li>・ 春季節展「あ！さくら展」の関連事業として、資料館1階ロビーにおいて「さくらコンサート」を行った。</li> <li>・ 入館者数 7,149人（対前年度比94.9%）</li> </ul>
③経営（収支）改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 報酬等、人件費の抑制に努める。</li> <li>・ 需用費や委託料等の支出軽減に努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 委託料実績 9,572千円（対前年度比同額）</li> <li>・ 学芸員が事務員を兼ねるなど、人件費抑制に努めている。</li> <li>・ 日常から職員が環境整備に積極的に取り組むなど、コスト削減に努めている。</li> </ul>

大項目	事業計画（取り組みや改善の内容等）	管理運営の概要
④職員確保方策及び健全な財政基盤	<ul style="list-style-type: none"> <li>・館長、副館長、事務学芸員を配置し、必要に応じて市職員との連携を図る。</li> <li>・常設展、企画展の企画及び管理にあたっては朝倉市との連携を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・非常勤館長1名、県派遣学芸職員1名（副館長）、常勤嘱託学芸員（3名）を配置。</li> <li>・朝倉市文化課職員2名を資料館担当とし、展示や運営に協力するなどの連携を図った。</li> </ul>
⑤施設管理上の個別事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・収集した資料は燻蒸処置を行い、収蔵庫において湿度等に配慮しながら資料の管理保全に努める。</li> <li>・収蔵した資料は管理台帳に登録し、保存状態の把握に努め、その状態及び性質に応じた管理を適切に行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・収蔵した資料については事業計画に沿って適切に保存している。また、資料管理台帳の整備を引き続き進め、その状態及び性質に応じたより適切な管理に努めている。</li> </ul>

## ②点検結果

<input type="checkbox"/> A+ （提案内容を上回った） <input type="checkbox"/> A （提案内容をやや上回った） <input checked="" type="checkbox"/> B （概ね提案内容どおり） <input type="checkbox"/> C （提案内容をやや下回った） <input type="checkbox"/> D （提案内容を下回った）	<p>【総合コメント】</p> <p>常設展や企画展のほか、関連する公開講座や副館長によるギャラリートーク、歴史バスハイク等の活動を継続するとともに、施設を自主展示のために市民に開放することで地域住民が歴史・民俗資料に触れる場を提供している。入館者数は減少しているものの、学習講座「ひみこ」や「さくらコンサート」は毎年度好評を得ている。車椅子用スロープの場所がわかりにくいことから、案内板を門付近に設置するなど、利用者へのサービス向上に努めている。</p>
--	--